

1月度 LAPIS通信

2018年、平成も30年となりました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度も、年末は12月31日まで、そして年始は1月1日から、中3生はLAPISで勉強をしていました。本当によくがんばっています。

人が人として生きていくためには、勉強ができるだけでは充分ではなく、人のために自分を使うこと、そしてその準備のために目の前のことに一所懸命取り組むことが必要で、また、一所懸命だからこそ見えぬ未来に不安になり、不安は一所懸命である証拠だと、「面接練習会」で伝えました。

「せ・め・て・あし・ふく・くせ」

せ = 背筋を伸ばし、

め = 目を見据え、

て = 手は体側もしくは前、

あし = 足のかかとやつま先が整っているか、

ふく = 服装に乱れはないかを確認する

くせ = 癖をつけよう

「せ・め・て・あし・ふく・くせ」に気を配りながら、笑顔で元気良く挨拶する練習や、3種類のお辞儀（軽く会釈・普通の礼・最敬礼）の練習を繰り返し、自分の思いをしっかりと相手に伝える練習もしました。

誰かを喜ばせるために学び続ける。そんな人間一流の社会人に育ててほしいものです。これは、自分たちへの言い聞かせでもあります。

LAP I Sのミッション

「授かった命を人の幸せのために使う人間の育成」

LAP I Sのこのミッション実現のために、今年も改革・改善を重ね、みなさまにもっともっと喜ばれるLAP I Sを創ってまいります。

日頃のご支援を心より感謝申し上げますとともに、みなさまの今年1年も更なるご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

1月17日に高校入試が始まります。3月1日まで長い長い受験の始まりです。受験生一人ひとりに満面の笑顔をプレゼントできるように精一杯やっております。至らぬ点やご要望がございましたら、どうぞ遠慮なくお申し付けください。



人の心を育てている会社、(株)サニタケ 松岡浩会長 よりこの文面をいただきました。私 田中も人の親、なかなか難しくはありますが、こうありがたいです。ぜひお読みください。

子は親の鏡

「子どもが育つ魔法の言葉」

ドロシー・ロ・ノルト・レイチャル・ハリス著

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんになる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

お手数ですが、内容物をご確認の後、お子さまを通じて

1月22日(月)までにケースをご返却ください。

各学年・クラスでLAPIS通信配布時に生徒にも説明するために、
ご兄弟で受講されているご家庭には2部、3部と同じものが届いてしまいます。
申し訳ございません。
不要であればケースに入れて戻していただければ、こちらで再利用いたします。

高校受験 **LAPIS**

TEL & FAX 047-443-1010 田中携帯 090-4822-0137

道野辺本町1-4-1 谷村ビル2F

東武鎌ヶ谷駅東口 徒歩2分 県道船橋我孫子線から見上げるとLAPISです みちのべ歯科となり
<ホームページ「塾LAPIS」で検索 <http://www.lapis-sonrisa.com>>